

# 有明中校区小中一貫教育だより 第4号

平成29年2月1日 有明中校区小中一貫教育推進委員会

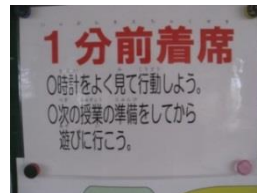
玉名市では、小中一貫教育を推進しています。有明中校区小中一貫教育推進委員会では、「学習指導部会」、「心の教育部会」、「健康教育部会」の3つの部会に分かれ、各部会毎に目標や活動内容を検討し、小中の9年間で一貫して教育にあたり、子ども達の成長を図ろうと様々な活動に取り組んでいます。有明中校区では、右のような教育目標(目指す児童・生徒像)を共通して設定し指導にあたっています。今年度の活動の様子をお知らせします。

**有明中校区の目指す児童・生徒像**  
**あ:** 明るくあいさつを交わし、思いやりあふれる児童生徒  
**り:** 理想を高く持ち、自ら学び、高め合う児童生徒  
**あ:** 安全と健康に心がけ、体づくりに励む児童生徒  
**け:** 謙虚な心で、粘り強く努力する児童生徒

## 【学習指導部会】

学習指導部会は、主に次の2点について取り組みました。

- 学習規律の確立について
  - ◆ 1分前着席の徹底、1月24日(火)～27日(金)は有明中に合わせて、小学校3校でノーチャイムにも取り組みました。
- 家庭学習の習慣化に向けて
  - ◆ ノーメディア調査と合わせて家庭学習時間調査を行い、結果を保護者に知らせ、家庭学習の習慣化を図りました。小学校では平日と休日の学習時間の差が県平均と比べ大きかったので、宿題の出し方にも工夫をして取組を行いました。
  - ◆ 自学ノートの取組  
めあてを書いているもの、新聞の切り抜きに感想を寄せているものなど、よい自学ノートを教室掲示したり、学級通信にのせて、よりよくなるよう指導しました。



意識づけるために各教室や、ろうか等に掲示目につくようにしました。

＜平成28年11月家庭学習時間＞

家庭学習時間(分)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
平日	21.4	21.1	25.6	28.1	46	36.8
休日	21.5	25.6	31.8	35.7	56.1	41.6

9月と比較すると、休日の学習時間は全学年長くなっており、平日より休日の学習時間が長くなりました。

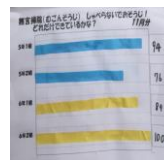
## 【心の教育部会】

「心の教育部会」の本年度の重点取組事項は次の3点です。

- あいさつについて
  - ◆ 小学校下学年は元気な声で、上学年・中学生は元気な声で立ち止まってできることを目標としました。有明中学校区全ての学校で定着しつつあることが確認できました。
- 無言清掃について
  - ◆ がまんする心、思いやりの心、気づきの心、感謝の心、正直な心、物を大切にすることを目標に無言の掃除を実施しています。振り返りや見取りを大切にしながら意欲的に取り組んでいます。
- いじめの未然防止、早期対応について
  - ◆ 各校それぞれいじめ防止校内組織が設置され、各校独自のアンケートやタマにゃんチェック、県の心のアンケート等を利用しながら未然防止に努めていることが確認できました。教育相談等で早期の対応も図られていました。



あいさつに関するのぼり旗を立て意識の高揚を図りました。



無言清掃チェックシートで見取りを大切にしました。

小中合同あいさつ運動を実施しました。豊水小では花の苗の贈呈もありました。

## 【健康教育部会】

「健康教育部会」は、①健康な生活習慣づくり、②食育指導の推進、③運動・体力向上の3つを重点に取り組みました。

### 【有明中学校区学校保健委員会講演会】

7月28日(木) 横島町公民館において、「子どもの体に異変！～子どもロコモと運動器診断～」という演題で、鶴上整形外科医院の鶴上浩先生に講演をしていただきました。



現在の子どもたちには、過剰な運動に関わる問題や運動不足に関わる問題など、運動器に関する様々な課題が増加しています。柔軟性・バランス及び反射神経(危険回避能力)の低下により、けがや故障を起こしやすくなっています。大人が子どもの体の異変に早く気付くこと、姿勢・運動不足・使いすぎに注意すること等を話していただきました。

### 【食育指導の推進】

まず、食に関心を持たせるために、昨年度に引き続き「マイ弁当の日」の取組を進めています。弁当作りに関わることで、感謝の気持ちや栄養等についても理解が深まりました。

さらに今年度は、給食の残滓を減らすために、残滓量を家庭にも知らせ、残さず食べることも取り組みました。

### 【運動・体力向上の取組】

有明中学校で作成されたDVD「体力づくりの取組」を参考に、小学校高学年の体育授業でも、筋力・持久力・バランス感覚を育てる運動の取組を始めました。

小学校の部活動は平成30年度で終わりますが、子どもたちの体力・運動能力の育成とあわせて、運動(体を動かす)習慣づくりに関しても、今後、検討していかなければなりません。